

自遊學

編集・発行

生涯学習をすすめる所沢市民会議

〒 359-0042 所沢市生涯学習推進センター内

TEL:04-2991-0303 FAX:042991-0306

<http://www.manabi-tokoro.com/>



第七期(令和五・六年)

「語り部養成講座」開講

所沢の歴史・文化を学び、その成果を市民に伝承する【所沢を学び所沢を語る】を目的に今年も語り部養成講座を開講いたしました。

今回の養成講座では、これまでよりも広く所沢市域に目を向けた内容を学び、全二十回というプログラムで募集を開始。十月末に募集を締め切り、十名の応募がありました。

十一月十八日(土)に開

講式が開催され、生涯学習をすすめる所沢市民会議会長・川地武の挨拶、生涯学習推進センター長・藤巻幸子氏からの激励のお言葉を頂戴し、その後先輩語り部による歓迎語りが行われました。

続くガイダンスでの受講生の自己紹介では、所沢のことをもっと知りたいという熱い思いが口々に述べられました。

これから一年間の長丁場となりますが、受講生の充実した学びと親睦の場となるよう、実行委員が講座運営を支えていきます。

名人・達人に聞く会開催報告

第79回例会

歴史的建造物をよみがえらせる

講師 大平茂男氏

今回は山口在住で歴史的建造物の保存、修復に取り組む技術集団(伝統技法研究会)の代表理事を務められる方のお話でした。所沢

の中心部が平成のバブル景気にあおられ高層マンションが林立する街に変貌する過程で失われた多くの建物の写真が示され、一部は建物の部材が保管、保存されておられ、これらを用いた建物の部分的な復元も計画されているとのこと。所沢は古い町でありながら、歴史遺産でもある建物や街並みをどうするか議論が後回しに開発が進められたのであろう。地域の文化や歴史遺産を考慮したまちづくりを考えるためにも今回のお話はおおいに参考になると思った。(川地 武 記)

第80回例会

食品サンプルからアクセサリまで

講師 畑中紀人氏

山口の住宅街にひっそりと佇む(株)畑中。ドアを開けると全身にカレーライスを纏った看板娘マネキンがお出迎え。このカレー嬢が(株)畑中、そして畑中

社長の発想の豊かさ、柔軟さを体現しています。(株)畑中の二代目社長を引き継いだ紀人氏は食品サンプルが時代遅れの仕事と思っただけです。それを儲かる仕事にするために考えたのが、食品サンプルをアクセサリにするというアイデア。それも「きれいな」「かわいい」を通り越した「キモカワイイ」の世界！これがマスクミヤネットの評判になり、今では国内だけでなく海外からも注文が来る人気です。これからの(株)畑中、クリエイター畑中氏の作品作りに目が離せません。記念すべき「名人・達人に聞く会」第80回例会にふさわしいユニーク企業の登壇でした。(粕谷雅子 記)

第81回例会

澄み切った音を追いかけて

講師 石川憲弘氏

今回は箏の演奏家・石川

憲弘さんをお招きした会でした。前半は箏の歴史や箏と琴の違い、歴史に残る名演奏家八橋検校と宮城道雄、調律、洋楽器との協奏の可能性などを聞きました。古墳から発掘された埴輪には箏のルーツのような楽器が出土すること、海外の音楽関係の辞典には日本の音楽家として紹介されるのは前述の八橋検校と宮城道雄であり、八橋の活躍した時代はバツハ生誕の頃と話を聞くとわが音楽観は随分偏っていたものだったと痛感しました。後半は八橋、宮城の古典的名曲（六段の調べなど）から最近の和楽曲、洋楽古典からシャソンなどまで幅広い曲を演奏され、拍手、拍手のフィナーレでした。名人の話と演奏で心豊かになる例会でした。（川地 武 記）

第82回 訪問歯科医療って

講師 奥原利樹氏

今回は、歯科医師の先生のお話でした。先生は訪問治療を二十年前から取り組み、軽ワンボックスカーに創意工夫した機材を積み込み、医院に通えない高齢者、認知症、障害をお持ちの方の治療。訪問先は住宅が半分、施設（特養、老健、グループホーム、病院等）が半分といった状態です。この訪問治療のお話では具体的な例を話され、ご家族とのふれあいを通して患者さんが先生の往診を心待ちにされているのとことです。特に口腔内を清潔に保つ口腔ケアの大切さは長生きに必須といっても過言ではありません。地域住民の生涯に亘る口腔機能の維持、向上を目指し、地域医療の一翼を担う歯科医師として東奔西走される姿が頼もしく、感動のひと時でした。

（引間維一 記）

※紙面の都合で講師顔写真および

びは第76回から78回の報告を掲載していません。完全な開催報告はホームページをご覧ください。

入間市生涯学習フェスティバルにポスター参加

12月3日に入間市産業文化センターで行われたフェスティバルにポスター参加し、入間市の生涯学習をすすめる市民の会と交流をしました。コロナ禍で中止やオンライン開催を余儀なくされた四年でしたが、見事に復活した様子で、コロナ前より充実した盛況ぶりです。



した。市民会議ではこれを機にポスターを更新し、生涯学習推進センターの入り口ロビーに展示しています。

新役員あいさつ

佐藤聖一委員

『さて、何をしようかな』。やがて来る、仕事がメインでなくなる生活に備えようと考えた時にふと思った。そんなある日、語り部養成講座の受講生募集案内が目にとまった。これが、私と生涯学習を進める所沢市民会議（以下、市民会議）との出会いです。

所沢に住んで三十年以上、自分が暮らすこの街は以前どんなところだったのか。それを学ぶことは、自らの生涯学習のよいきっかけになると思い、受講した結果、学びと新しい仲間との出会いによる充実した時間を過ごすことができました。その後、市民会議入会のお声掛けを頂き、お世話になった恩返しになればとの思いからお手伝いさ

せて頂くことになりました。今後は、自らの生涯学習の継続と、皆様の生涯学習活動のお役に立てるよう努めてまいります。よろしくお願い申し上げます。

久保田恵子委員

「所沢史のお宝を伝えたい」
コロナ禍のなかで所沢のことを知りたくなり、「市民大学」と「語り部養成講座」を受講しました。

そこで、所沢は歴史のお宝にあふれていることがわかりました。例えば三ヶ島にある砂川遺跡から旧石器時代の人々の暮らしがわかる石器がみつかりました。また自宅の近所に縄文時代の膳棚遺跡があることがわかり、歴史が身近に感じました。

この2か所の遺跡は、各々の時代の研究に多大な貢献をしたにもかかわらず、認知度が低いのは残念なことです。

市民会議の活動を通して、所沢史や文化の魅力を多くの方々知って頂きたいと思えます。よろしくお願い致します。